

大阪大学未来基金

活動のご報告とご寄付のお願い

ホームページはこちらから

大阪大学未来基金

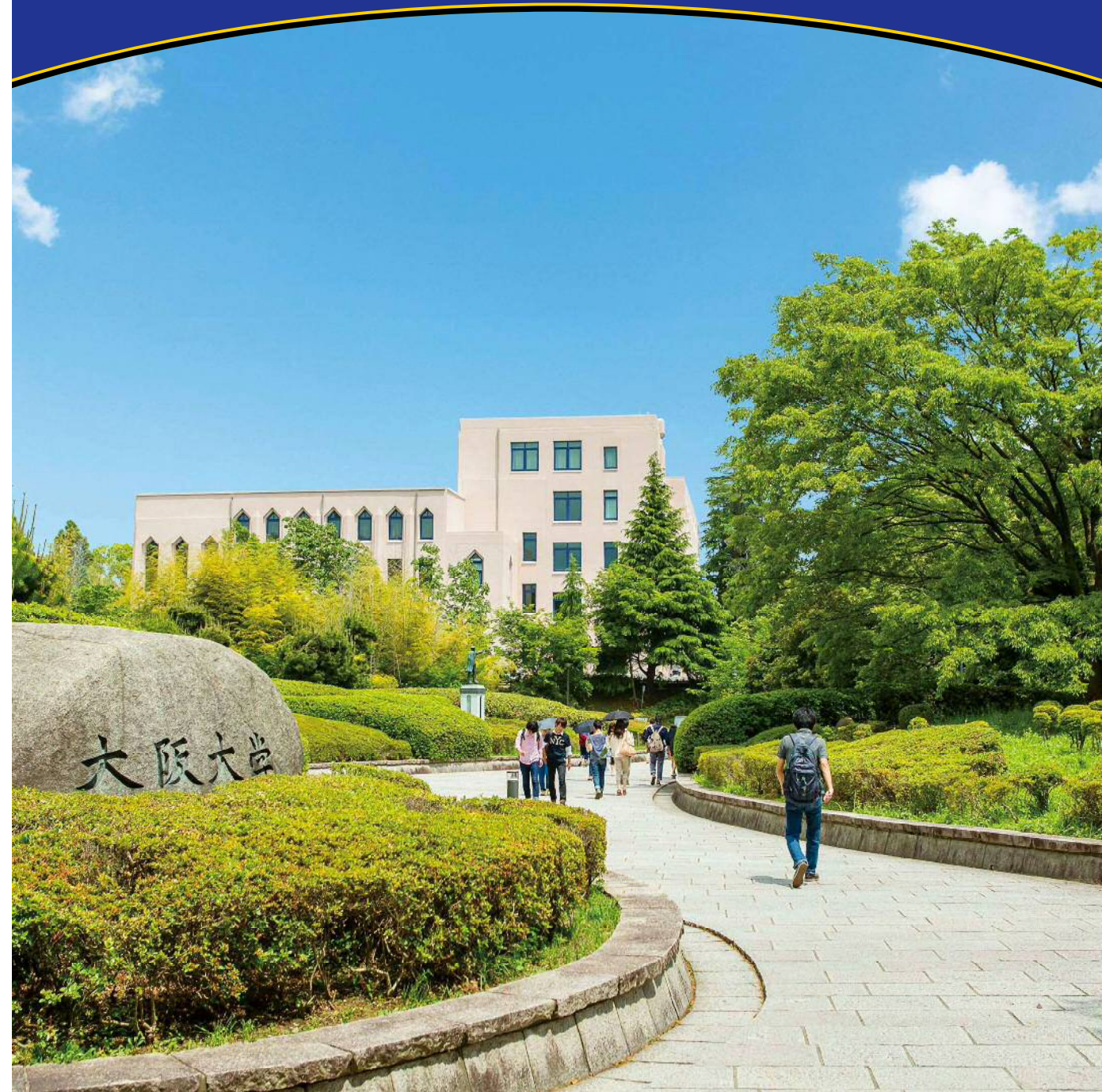
検索

www.miraikikin.osaka-u.ac.jp



お問い合わせ：大阪大学 渉外本部 未来基金事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
TEL.06-6879-8327 FAX.06-6879-4337
E-mail : kikin@office.osaka-u.ac.jp



「地域に生き世界に伸びる」



大阪大学の教育研究の発展と 未来の人材育成のために

大阪大学は、1931年に帝国大学として創立以来、初代総長岡半太郎の「勿嘗糟粕(そうはくをなむるなかれ)」“常に独創的であれ”という志を大切に、懐徳堂と適塾の流れを汲みつつ、進取の気風と知の融合のもとで豊かな学問を展開し、先駆的・独創的な研究を発展させてきました。これらを背景に80年余の歴史のなかで卓越した学問・研究業績はもちろんのこと、各分野のリーダーとして中核を担い、国際的な舞台で活躍する有為な人材を数多く輩出しています。

大阪帝国大学の成り立ちには、地元大阪の官界、政界、実業界こぞの支援と熱意、大阪府市民の協力と強い願望があって実現したという経緯があります。つまり、大学創設に必要な土地、建物、資金の多くを地元からの寄付と民間の浄財によった、いわば、“地元大阪が、大阪から日本の発展に資するために創った”大学と言えます。

大阪大学のモットーである「地域に生き世界に伸びる」という第11代総長 山村雄一の言葉に表されているように、常に大阪に目を向け、大阪に根差した大学であり続けるとともに、世界に羽ばたく学問と研究、社会に役立つ学生の教育、世界に目を向けグローバルに活躍する人材を送り出すことを第一義の使命に考え、力強く発展していくことを目指していきます。

そして、大阪大学が、50年後、100年後そしてその先の未来を見据え、80有余年の伝統のなかで培ってきた知の財産、人的資源を継承し、新しい時代と社会の要請に応えるべく教育・研究の充実を図ってまいります。

大阪大学の将来を考えるうえで、長期的に安定した財政基盤の強化、基金の充実が不可欠です。卒業生の方々をはじめ教職員、個人、企業・団体等の皆さまにおかれましては、「大阪大学未来基金」への温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪大学総長 西尾 章治郎

大阪大学未来基金の収支のご報告

平素は「大阪大学未来基金」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成21年5月に「大阪大学未来基金」を設置して以来、皆さまのご厚意に支えられ、お蔭さまでご寄付の受入総額は平成26年8月に30億円に達しました。温かいご支援を賜りましたことに、心より感謝しております。

基金残高は24億円に

平成27年3月末までの「大阪大学未来基金」の収支状況は、以下の通りとなっております。

収入総額は、33億5,928万円となりました。学内基金等の組入れ分も含めて寄付受入が33億60万円、運用益が5,867万円となっております。

支出総額は、8億6,204万円となりました。その内訳は、奨学金支給など全学事業への支出が2億174万円、学部の教育研究事業等のあらかじめ目的を指定した事業への支出が6億4,786万円、活動費への充当が1,243万円となっております。

この結果、平成27年3月末日の残高は、24億9,724万131円となりました。

平成21年5月1日～平成27年3月31日

内 訳		金 額 (円)
収 入	寄 付 受 入	3,300,603,273
	運 用 益	58,677,570
	小 計	3,359,280,843
支 出	全学事業への支出	201,748,168
	学部等事業への支出	647,861,403
	活 動 費	12,431,141
	小 計	862,040,712
基 金 残 高		2,497,240,131

基金の運営について

基金の支出は、学外有識者を含む大阪大学未来基金運営委員会、事業目的、資金使途等を審議のうえ決定するプロセスをとっております。

基金の運用について

基金は、国立大学法人法で認められている有価証券(地方債等)のほか、現預金で保有しております。



理事・副学長、渉外本部長

小川 哲生

未来への投資を

「大阪大学未来基金」では、皆さまのご厚意を一層有効に活用するため、全学事業として、従来より積極的に取り組んでおります学生への奨学金支給等に加えて、平成27年度からは学生朝食支援事業や学部学生による自主研究奨励事業などの新しい事業を始めました。

また、皆さまのご寄付のご希望にきめ細かく対応できるよう、そのための受け皿として、課外活動支援、研究室支援、ご寄付者のお名前を冠した事業など、あらかじめ目的を指定した事業・プロジェクトの拡充も進めております。

「大阪大学未来基金」へのご寄付は、大阪大学の未来への投資となるものです。皆さま一人ひとりのご支援を支えとして、活動をさらに活発化してまいりたく、是非ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

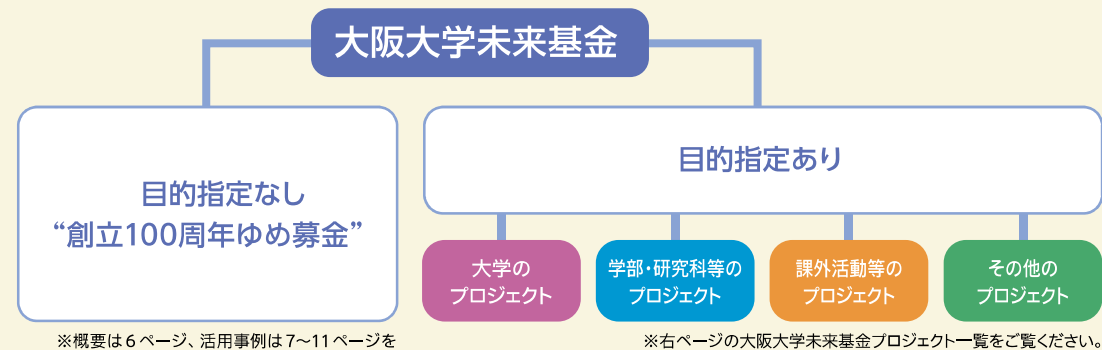
大阪大学未来基金について

大阪大学は、平成21年5月に「大阪大学未来基金」を設置し、大阪大学自らが募金活動を行っております。

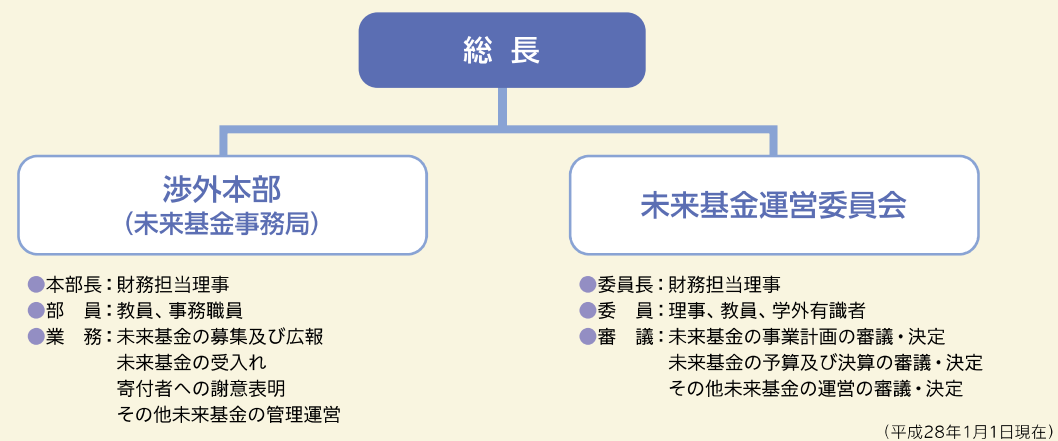
この基金は、国からの交付金以外の財源を独自に持ち、大阪大学がその使命を果たすべく、自主的な事業を持続的に展開するための財源的基盤となるものです。

◆大阪大学未来基金のしくみ

- 大阪大学未来基金には、寄付金の使途を特定しない「目的指定なし」の基金と、寄付金の使途を特定した「目的指定あり」の基金があります。
- 「目的指定なし」は、“創立100周年ゆめ募金”として募集を行っている基金です。寄付金は大学全体のために活用されます。
- 「目的指定あり」は、プロジェクトごとに、あらかじめ寄付金の使途を特定して募集を行っている基金です。「目的指定なし“創立100周年ゆめ募金”」や「目的指定あり」の他のプロジェクトと分別して管理されます。



◆大阪大学未来基金の管理運営体制



大阪大学未来基金 プロジェクト一覧

◆大学のプロジェクト

プロジェクト名	活 用 事 例
大阪大学中之島キャンパス再開発事業	大阪大学のキャンパスの一つとしての中之島地区の再開発支援

◆学部・研究科等のプロジェクト

プロジェクト名	活 用 事 例
医学系研究科・医学部教育研究事業	医学系研究科及び医学部の教育研究活動の支援、充実を図るための事業
経済学部・経済学研究科教育研究事業	経済学部・経済学研究科の学生・教員の教育研究活動の支援、充実を図るための事業
理学部・理学研究科教育研究事業	理学部・理学研究科の教育・研究環境及び学生支援体制の充実のための事業
歯学部・歯学研究科教育研究事業	歯学部・歯学研究科の教育研究体制の充実及び研究成果の情報提供等の支援事業
工学部・工学研究科教育研究事業	工学部・工学研究科の教育・研究環境とその支援体制充実のための事業
文学研究科・文学部「教育ゆめ基金」	人文学教育の国際化、学生の海外留学支援、留学生の支援等の教育助成事業
人間科学部・人間科学研究科教育研究推進事業	人間科学部・人間科学研究科の教育研究活動支援事業
薬学部・薬学研究科教育研究事業	薬学部・薬学研究科の教育研究活動支援事業
基礎工学部・基礎工学研究科教育研究事業	基礎工学部・基礎工学研究科の教育研究活動支援事業
青雲教育研究事業 (法学部・法学研究科・高等司法研究科教育研究事業)	法学部・法学研究科・高等司法研究科の学生の支援、教育環境の整備、教員の教育研究活動の充実を図るための事業
咲耶教育研究事業 (外国語学部教育研究事業)	外国語学部学生の修学支援、課外活動支援、就職支援等の事業
健康長寿イノベーション・医学研究事業 (医学部保健学科・保健学専攻教育研究事業)	学生支援、教育研究環境の整備、社会・地域活動支援等の事業
バイオテクノロジー教育促進事業 (生物工学国際交流教育研究事業)	生物工学国際交流センターの教育研究活動の充実及び社会貢献
ツインリサーチセンター研究事業 (ふたごに創る健やかな日本の未来)	ふたごに関する教育研究環境の充実、啓発活動等の事業
マラリア予防研究支援基金	マラリアワクチンの普及とそれのために必要な開発のための事業
社会ロボット研究基金	未来社会を支える人と関わるロボット・アンドロイド研究の支援事業
感染症研究・対策・人材育成支援事業 (微生物病研究所教育研究事業)	微生物病研究所における教育研究活動の支援事業
行動経済学研究支援事業 (社会経済研究所教育研究事業)	社会経済研究所における教育研究活動の支援
レーザーエネルギー学研究教育支援事業	レーザーエネルギー学研究センターにおける教育研究活動の支援
蛋白質研究教育支援事業	蛋白質研究所における教育研究活動の支援

◆課外活動等のプロジェクト

プロジェクト名	活 用 事 例
体育会卓球部支援事業	体育会卓球部の活動活性化への財政的支援、及び現役学生とOB・OGの交流活性化
体育会ヨット部支援事業	体育会ヨット部の活動活性化への財政的支援、及び現役学生とOB・OGの交流活性化
体育会硬式庭球部支援事業	テニスコートの改修のための財政的支援、及び現役学生とOB・OGの交流活性化
体育会サッカー部支援事業	体育会サッカー部の活動支援
体育会ラグビー部支援事業	体育会ラグビー部の活動支援
体育会漕艇部支援事業	体育会漕艇部の活動支援
体育会アメリカンフットボール部支援事業	体育会アメリカンフットボール部の施設整備・活動支援
体育会硬式野球部支援事業	体育会硬式野球部の活動支援
体育会アイスホッケー部支援事業	体育会アイスホッケー部のチーム力強化と活動支援
体育会バドミントン部支援事業	体育会バドミントン部の活動支援
医学部ボート部支援事業	医学部ボート部の活動支援
未来へ繋がるエコ活動支援事業	環境サークル GECS の活動支援
課外活動等支援事業	学生の課外活動及び福祉向上の援助、学生の就職斡旋に必要な援助

◆その他のプロジェクト

プロジェクト名	活 用 事 例
適塾記念事業	適塾関係者の研究・顕彰、関係資料の収集
総合学術博物館運営助成事業	大阪大学総合学術博物館の運営助成
キャリア支援事業	大阪大学におけるキャリア支援
女性活躍支援事業	女性構成員の修学・研究・キャリア支援

(平成28年1月1日現在。上記以外のプロジェクト情報は大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。)

大阪大学未来基金 “創立100周年ゆめ募金”とは

グローバル人材の育成や、 教育研究活動のために活用します。

大阪大学未来基金は、学生や研究者の支援、グローバル化の推進、キャンパス環境の整備などに積極的に取り組んでいます。

そして、平成25年10月から、創立100周年を迎える2031年に向けて、大阪大学未来基金“創立100周年ゆめ募金”を新たに開始しました。

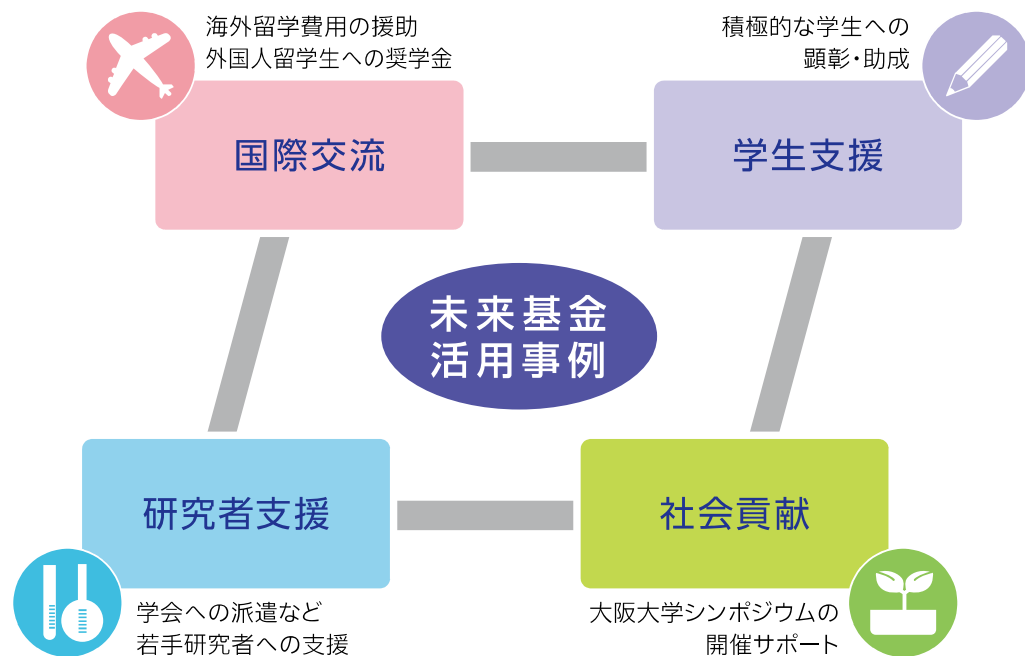
この募金により、在学生、卒業生、教職員、さらに本学を応援して下さる皆さまが一体となり、大阪大学の発展をより強力に支えていくことを目指しています。

“創立100周年ゆめ募金”の活用事例

大阪大学未来基金“創立100周年ゆめ募金”は、皆さまからのご寄付を基金として運用し、将来の大阪大学の研究活動の推進や、未来の阪大生の人材育成に活用するほか、現在の学生や研究者の教育研究環境の充実のために還元しています。

特に平成25年度より、大阪大学が目指す“グローバルキャンパス”の実現に向け、海外留学プログラムに挑戦する学生へのサポートの充実や、教養・専門課程の成績優秀者への顕彰などの人材育成のための支援活動に積極的に取り組んできました。

さらに平成27年度からは、学生朝食支援事業や、学部学生による自主研究奨励事業など新しい事業もスタートさせ、国際交流・学生支援・研究者支援・社会貢献の4本柱の下で教育研究環境のさらなる充実を図っております。



※具体的な活用事例は7～11ページをご覧ください。

“創立100周年ゆめ募金”の活用事例

総長表彰事業

総長からの直接の表彰が、 課外活動の励みになります。

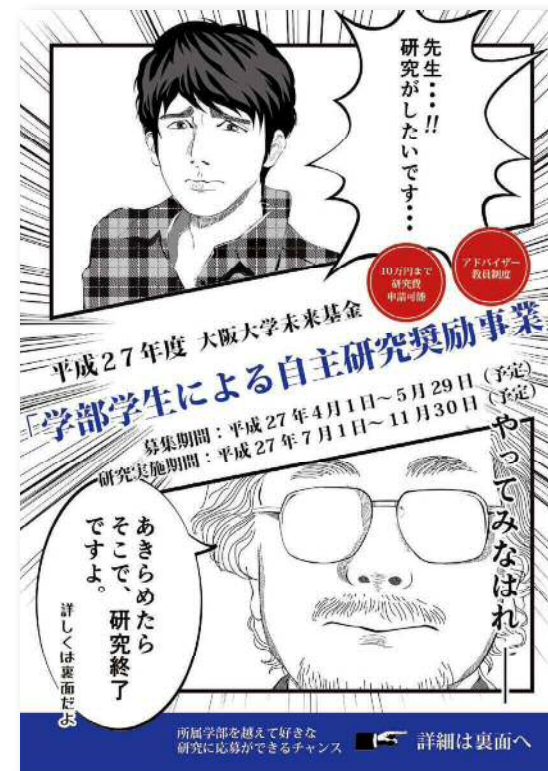
学生の課外活動の充実とさらなる活発化をめざし、課外活動全般で優れた成績や社会からの高い評価を得た団体・個人を、総長が表彰しています。



第15回「課外活動総長賞」

課外活動 総長賞	受賞団体	表彰の対象となった成績等
優秀賞	囲碁部	第12回世界学生囲碁王座戦 闇雲 翼 準優勝
	電子技術研究会 (ツールボックス)	第2回フリースケールカップ 日本大会優勝・世界大会進出決定
特別賞	フェンシング部	第66回全日本フェンシング選手権大会 (個人戦)女子エペ 松原 真弓 予選リーグ通過・トーナメント進出
	ライフル射撃部	西日本学生ライフル射撃選手権大会 および 西日本デジタルスポーツピストル射撃記録会 デジタルピストル女子 國枝 桂子 個人優勝
	大阪大学体育会	第52回全国七大学総合体育大会 主管校としての運営
	環境サークル GECS	第11回全国大学生環境活動コンテスト 環境大臣賞(グランプリ)受賞
	鈴木 星良 (国際公共・M1)	Passion du Ballet a Kyoto 京都バレエコンクール2013 第7回 Competition モダン/コンテンポラリーの部(ソロ)第1位、 池田市長賞受賞
	ショセキカ プロジェクト	「ドーナツを穴だけ残して食べる方法 越境する学問 一穴からのぞく大学講義」の 出版・広報運営等
	大阪大学 フォーミュラ レーシングクラブ	第11回全日本学生フォーミュラ大会 準優勝

学部学生による 自主研究奨励事業



アドバイザー教員のサポートで、 自由な発想にもとづく自主研究が行えます。

学部学生の自主的な研究意欲を喚起し、基礎的な研究遂行能力の育成を図ることを目的として、アドバイザー教員の指導のもとで行う自主研究に対して研究費を支給しています。「教わる」から「自ら学ぶ」意識への転換のきっかけとし、物事の本質を見抜く資質を身に付け、幅広い分野にわたって世界で活躍できる人材の育成を目指します。

特 長

自主研究活動に意欲を持った学部学生が行動に移せる環境を実現

- 自主研究活動に必要な研究費として10万円を支給します。
- 初めてでも大丈夫、アドバイザー教員がサポートします。(所属学部以外の教員も可)

11ある学部ごとによる研究奨励体制

- 全11の学部がそれぞれ掲げる学部の特色・分野に応じたテーマを研究します。
- 所属学部を問わず、興味のあるテーマを掲げる学部に申請OKです。

グローバル化推進事業 交換留学奨学金(派遣)

世界を舞台に活躍できる豊かな国際性が身につきます。

学生の海外派遣を促進し、海外の大学等へ留学の機会を与え、国際感覚を備えた学生を育成するために奨学金支援を行っています。



本当の中国を体感

楢橋 広基 さん | 外国語学部(中国語専攻)



2014年9月～2015年6月まで清華大学(中国・北京)へ留学しました。
応募の動機は、僕は外国語学部外国語学科中国語専攻なので、中国語専攻の学生として中国語の上達は勿論、今の本当の中国を見たいと思い交換留学を決意しました。中国語は勿論、中国の事も肌を通してたくさん学べました。中国には意外と親日家の方が多いということを知りました。海外留学は思っているほど華やかではありません。しかし、海外に比較的自由な身分の学生として住むということは滅多にないことです。
未来基金には感謝しています。

グローバル化推進事業 海外グループ研修助成金

学生自らが企画して海外での交流や研修活動を行えます。

学生の積極性と企画力・実行力の向上を期するため、任意に結成された学生グループに対して、自らの企画による海外での交流・研究活動に助成金の支援を行っています。

平成26年度実績

研 修 名	研 修 先	参加人数
タンザニアにおいて国際保健医療に対する理解を深める	ムンビリ大学(タンザニア)	4人
オランダの「水」政策からみる都市のつくりかた―「水都大阪」におけるアーバンルネッサンスの可能性を探る―	デルフト工科大学(オランダ)	3人
ブダペスト第7地区Jewish Quarterにおける空間文化を継承する都市デザインモデルの提案	聖イシュトバーン大学(ハンガリー)	4人



研修を企画、先方と折衝等々

現地への社会貢献を

平岡 美由紀 さん | 工学研究科地球総合工学専攻



ハンガリーの首都・ブダペストにある旧ユダヤ人居住地区では、近年都市開発が進み、豊かな文化により形成されてきた街区構造が崩壊し、貴重な空間資産が消失しつつあります。そこで現在の開発に対する「逆提案」を行うことを目的とし、ブダペストへ向かいました。現地では、将来のハンガリーの建築を担う学生48名と共に調査を行い、ワークショップでのディスカッションを通して、地区将来像の提案を行いました。これからのアーバンデザインに必要な地域文脈への意識を現地の学生に持たせ、少しでも現地への社会貢献をしたいという強い思いを果たせることができました。
未来基金がなければ、この願いは実行できませんでした。このような機会を与えてくださり、本当に感謝しています。

グローバル化推進事業 海外研修プログラム助成金

大阪大学独自の海外研修プログラムで国際感覚を養えます。

学生を海外の大学等に派遣し、研修やインターシップに参加する機会を与える海外研修プログラムを支援しています。参加学生の外国語によるコミュニケーション能力向上、研究活動における国際性の修得、国際感覚豊かな人材の育成が目的です。また、各学部・研究科・センター等主導で計画する派遣プログラムを支援し、大学全体の学生派遣を促進させることも狙っています。

平成26年度実績

研 修 プ ロ グ ラ ム 等 の 名 称	研 修 先	参加人数
長期留学準備用イギリス短期集中英語研修	エセックス大学(イギリス)	39人
理工系学生のためのグローバル人材育成プログラム(理学部科学英語夏期海外研修)	セント・メリーズ・カレッジ・オブ・カリフォルニア(アメリカ合衆国)	13人
生物資源と環境	マヒドン大学ほか(タイ)	16人
2014年度大阪大学/北京師範大学中国語表現能力養成プログラム	北京師範大学漢語文化学院(中国)	19人
イタリア・デザイン・サマースクール	ボローニャ大学(イタリア)	5人
開発途上国の生活環境の改善に貢献するモノづくりを提案する	Bangladesh Rice Research Institute(バングラデシュ)	7人
マヒドン大学短期訪問プログラム	マヒドン大学(タイ)	2人



英語力に目覚ましい伸び！

『長期留学準備用イギリス短期集中英語研修』

(主催：大阪大学国際教育交流センター、教育推進部学生交流推進課)

本プログラムでは学内選考を通過した39名が英国・エセックス大学で5週間の英語研修に参加しました。研修前後のIELTSスコアを比較すると、学生の英語リスニング・スピーキング力に目覚ましい伸びが見られます。高いスコアを手にした参加者のうち8名が、見事に希望を叶え、協定校への交換留学内定を獲得しました。



グローバル化推進事業 研究留学助成金

世界水準の研究活動を志す学生に海外派遣への道が開けます。

大学院生による海外の大学・研究機関における短期研究留学等の研究活動を推奨支援し、国際性豊かで創造的な研究開発活動を独力で展開できるグローバル人材を育成するために、助成金の支援を行っています。



自律した研究者へ

西口 昇吾 さん | 基礎工学研究科



ロンドン(イギリス)に半年、クライストチャーチ(ニュージーランド)に2ヶ月、ジョホール(マレーシア)に4ヶ月の計1年の留学をしました。研究テーマは、ロボットインタフェースの開発と、キスコミュニケーションメディアの開発です。日本の研究と違いを感じた点は、ミーティングの頻度です。日本では週に一回、多い人はほぼ毎日のように何かしらミーティングがあったのですが、海外では数ヶ月に1回が基本で、スーパーバイザーはあくまで間違っただけをしないためのストッパーとして機能しており、学生自ら考える力が養われます。

学生朝食支援事業

無料朝食で新入学生の朝を支援します。

新年度の講義開始日にあわせ、「新入学生に朝食を取る習慣を身に付けて、健康で規則正しい学生生活を送ってもらいたい」という目的で、期間限定で無料朝食セットを提供しました。



課外活動用 高額物品援助事業

高額物品の維持・整備により、学生が安心して課外活動に取り組めます。

課外活動に必要な機材等の不足を解消し、課外活動の活性化と活動環境の安全化を図るために、大学・学部公認の課外活動団体を対象として高額の物品を援助しています。



フィールドホッケー部
ゴールマウス

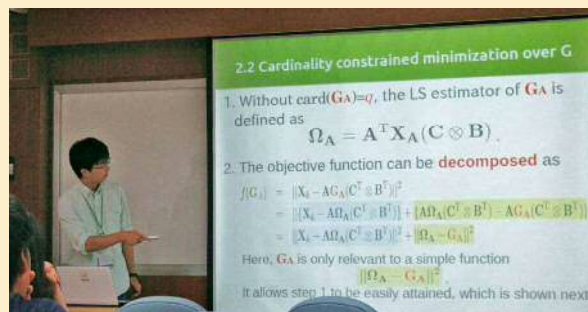


ラグビー部
タックルマシーン

若手研究者支援事業

海外をより意識し、研究者としての視野が広がります。

- 博士後期課程に在籍する大学院生が、各研究分野の重要な国際シンポジウム等において、在学中に初めて行う成果発表等に対して、助成を行っています。
- 平成26年度の採択件数は、12件となりました。



自信につながった国際学会

池本 大樹 さん | 人間科学研究科

私は、2014年6月30日～7月3日にかけて開催されたIMS-APRM 2014に参加しました。IMS-APRMは統計学に関する国際学会で、今回は台湾で開催されました。世界の最先端の研究を知ることができ、大変勉強になりました。英語での発表は苦手でしたが、この学会で発表したことで少し自信を得ることができました。

Information

Re:本 古本募金「リボーン」プロジェクト

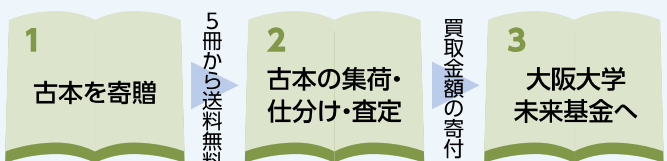
皆さまが読み終わった書籍が大阪大学の教育、研究活動などに役立てられます。

「Re:本(リボーン)」プロジェクトは、大阪大学の在学生・卒業生・保護者の方・職員など当プロジェクトにご賛同いただける皆さまからの本の寄付によって、阪大生の「未来」を支援する取り組みです。



- ・ご自宅で段ボール箱に詰めて申込み（電話またはWEB）をするだけ。
- ・ご指定のお時間に宅配業者がご自宅にお伺いします。
- ・5点以上であれば送料は当プロジェクトが負担いたします。
- ・詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。

Re:本プロジェクトの流れ



税制上の優遇措置

個人の皆さま

大阪大学へのご寄付につきましては、確定申告を行うことにより、税制上の優遇措置の適用を受けることができます。

所得税の軽減

大阪大学への寄付金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)として財務大臣から指定されています。

具体的には、寄付金の額(当該年分の総所得金額等の40%を限度とする。)から2,000円を除いた額を所得から控除することができます。

住民税の軽減

大阪大学への寄付金を個人住民税の控除対象としている都道府県・市区町村にお住まいの皆さまは寄附金税額控除の適用を受けることができます。

具体的には、寄付金の額(当該年分の総所得金額等の30%を限度とする。)から2,000円を除いた額に4%(都道府県民税分)・6%(市区町村民税分)を乗じた額が、翌年の個人住民税額から控除されます。

大阪大学への寄付金は、例えば以下の都道府県・市区町村の個人住民税控除対象となっております。

- 都道府県：大阪府
- 市区町村：大阪市・吹田市・豊中市・茨木市

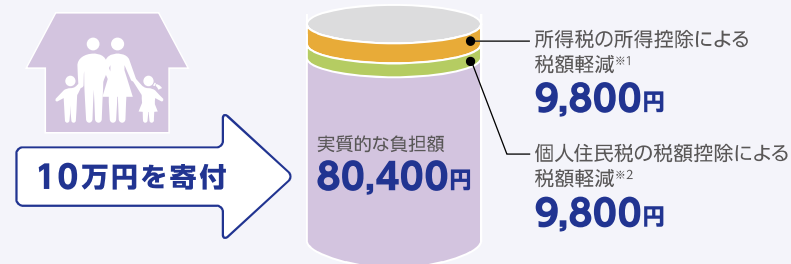
【具体例】

大阪市・吹田市・豊中市・茨木市にお住まいの方は、寄付金の額(当該年分の総所得金額等の30%を限度とする。)から2,000円を除いた額に10%(都道府県民税分4%、市区町村民税分6%)を乗じた額が、翌年の個人住民税から控除されます。

大阪府(個人住民税控除対象外の市町村)にお住まいの方は、寄付金の額(当該年分の総所得金額等の30%を限度とする。)から2,000円を除いた額に4%(都道府県民税分4%)を乗じた額が、翌年の個人住民税から控除されます。

寄付金控除の計算イメージ

給与収入 700万円、配偶者+子ども2人、
所得税の限界税率10%で大阪市にお住まいの方が10万円を寄付された場合



※1 (寄付金額 100,000円 - 2,000円) × 10% = 9,800円

※2 (寄付金額 100,000円 - 2,000円) × (府民税分4% + 市民税分6%) = 9,800円

(注) 上記はあくまでも目安となっております。収入の種類、各種所得控除等により変動が生じることがあります。

法人の皆さま

大阪大学への寄付金は、法人税法上の指定寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されています。具体的には、寄付金の全額を、一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で、損金算入することができます。

ご寄付の方法

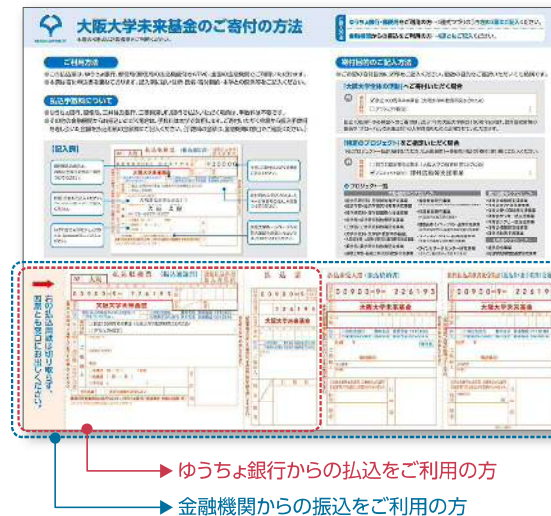
個人の皆さま

払込取扱票がお手元ない場合は、お手数ですが、大阪大学 未来基金事務局までお問い合わせください。

ゆうちょ銀行、金融機関の窓口でのお支払いの場合

所定の4連式払込取扱票をご利用ください。

通信欄に、住所、氏名、電話番号、ご卒業年等をご記入のうえ、ゆうちょ銀行、全国の金融機関でお手続きをお願いいたします。



ATM、ネットバンキングからのお振込みの場合

大阪大学未来基金のホームページよりお申込み手続き後、ホームページに記載の銀行振込口座にお振込みください。

クレジットカードをご利用の場合

大阪大学未来基金のホームページからクレジットカードによるご寄付のお申込みを受け付けています。また、定期的なご寄付のお申込み手続きも行っています。詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。

※右記のマークがあるクレジットカードがご利用いただけます。



定期的なご寄付をお申込みの場合

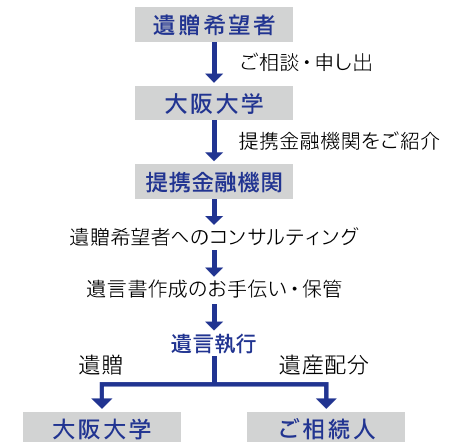
毎年1回定額のご寄付により、大阪大学をご支援いただくものです。所定の「大阪大学 未来基金寄付申込書(口座振替用)」「預金口座振替依頼書」に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒でご返送ください。



遺贈によるご寄付

大阪大学では、遺贈による本学へのご寄付をお考えの皆さまに、豊富な実績・経験を持つ提携金融機関をご紹介します。

＜手続きの概要＞



法人の皆さま

専用の申込書がございますので、お手数ですが、大阪大学 未来基金事務局までご連絡をお願いいたします。詳しい手続きをご案内させていただきます。